

◆◆◆◆◆ 福井県越前市 講演会のお知らせ ◆◆◆◆◆
放射線被曝の健康影響について

フクシマでは、避難範囲をはずれた福島市や郡山市にまで汚染が広がったため、許容被曝線量を20ミリシーベルト/年に引き上げ(それまで1ミリシーベルト/年)しました。こうした措置は医学的に正しいことなのでしょうか。子どもたちへの健康影響は無いと言い切れるのでしょうか。

放射能で汚染されたベラルーシへの支援の活動を20年にわたり続けてこられた振津かつみさんから、被曝と健康影響についてのお話を聞きます。振津さんは、放射線による被曝が次世代に及ぼす健康影響について研究されてきました。他方で、ウラン鉱山や核実験場など世界のヒバクシャ問題にも関心を寄せ、チェルノブイリ原発事故で被災した人々の支援などのボランティア活動にも取り組まれています。

5月28日(土)午後7時～ 今立生涯学習センター(岡本小の南)

5月29日(日)午後1時～ ユーアイふくい (県産業会館の南)

講 師: 振津かつみ (医学博士・日本放射線影響学会会員)

主 催: 子どもたちに未来をつなぐ会 (共催: 若狭ネット) 連絡 0778-42-3630(山崎方)

◆◆◆◆◆ 「大阪でも」 ◆◆◆◆◆

5月29日(日)午後2時～4時半

菟田土地改良記念会館 (地下鉄 御堂筋線「我孫子」駅下車 東へ5分)

福島事故からエネルギー政策大転換へ!

報告 久保良夫(福島事故について) 中西克至(エネルギー政策の転換)

連絡 地球救出アクション97 くぼ 072-939-5660

6月 5日 (日) 午後2時～4時半

菟田土地改良記念会館会議室1 (地下鉄御堂筋線あびこ駅下車5分)

福島原発重大事故と住民被曝 報告 建部暹(ヒバク反対キャンペーン)

連絡 尾崎一彦 0774-73-2496

福井でも 若い人たちと共に6月11日パレードをおこないます

5月15日の福井市での『フクシマと共に5・15パレード』は、150人を超えました。

0歳児を連れた岐阜からの女性をはじめ、茨城から夜行バスで駆けつけた人、名古屋・滋賀県や大阪からなど県外からの参加者も。乳母車の数も多く、若い人たちが大多数でした。きっと音楽家の影響力でしょう。

6月11日は、国際的な統一行動デーということで、国内でも各地でデモパレードが行われるようです。福井でもぜひやりたいという声が多く、

6月11日(土)...午後1時、パレードを準備することにします。

集合場所は、**福井市中央公園(市役所ウエ)**です。呼びかけ人をもっと増やし、パレードは、団体・グループではなく個人のつながりを大切にする実行委員会で引き続きやりたいと思います。嶺南の人たちにも呼びかけてゆきます。



(5月15日 福井市 デパート前)

「山崎たかとし」 (連絡)0778-42-3630